

いなべ市 議会だより

第33号

平成24年5月1日

発行
三重県いなべ市議会
編集
議会広報編集委員会



中里小学校6年生

「みんな笑顔の花、一人ひとりの明るい気持ちをテーマに
みんなで協力し、心をこめて花を育てています」

3月定例議会

- 平成24年度当初予算と主要事業..... P 2 ~ P 3
- 常任委員会の審査結果..... P 4 ~ P 6
- 反対V S 賛成討論..... P 7 ~ P 12
- 議案の審議結果一覧表..... P 13
- 動議 1 件、発議 3 件提出..... P 13 ~ P 14
- 5 会派が代表質問..... P 15 ~ P 20
- 8 人が一般質問..... P 21 ~ P 25
- 4 人が総括質疑、臨時議会..... P 25
- 市民の声..... P 26 ~ P 27
- クイズの当選者..... P 28
- 学童野外活動センター..... P 28
- 編集後記・6 月定例議会(予定)..... P 28

平成24年度予算は、防災体制を強化し、

道路網整備事業

市道笠田新田坂東新田線

(延長L = 1,850m)、

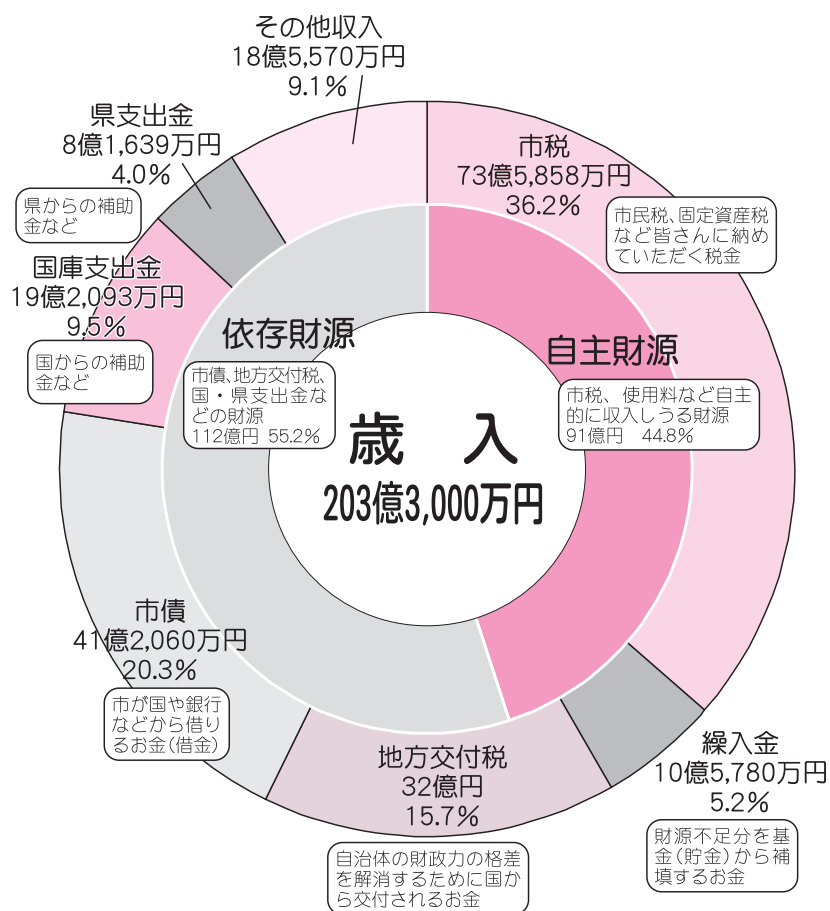
大井田3区292号線

(延長L = 1,000)

事業費 3億1,113万円



大井田3区292号線道路改良工事



笠間保育園整備事業

笠間保育園園舎建設、環境整備

事業費 7億3,837万円



笠間保育園完成予想図

大安中学校建設事業

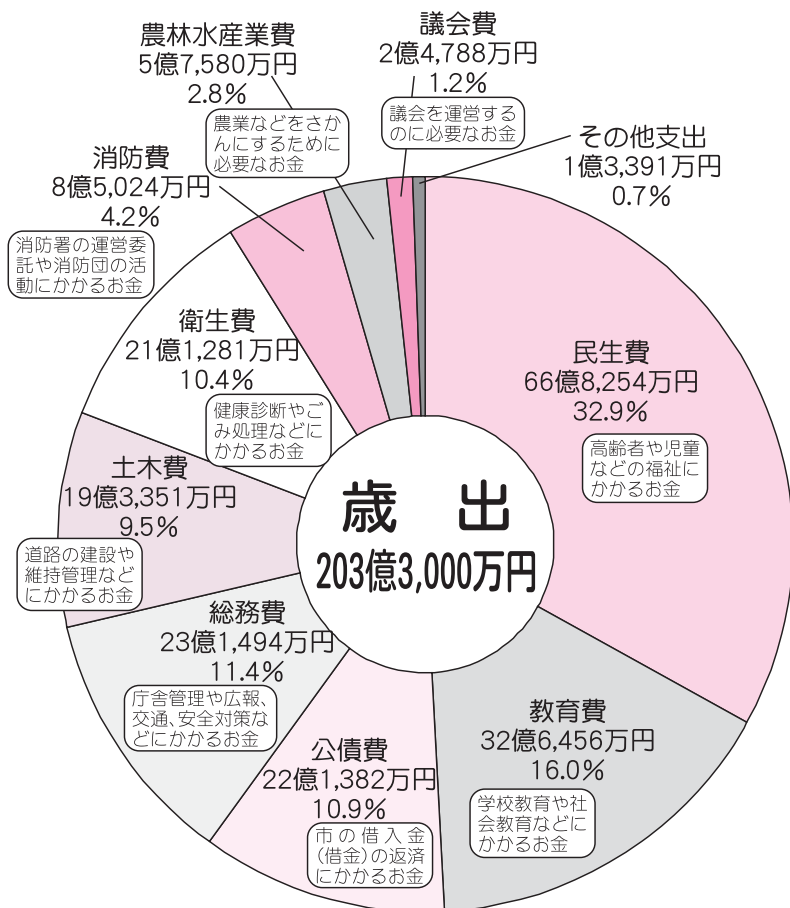
大安中学校校舎改築工事

事業費 9億6,134万円



大安中学校完成予想図

緊急時の行動につなぐ力を蓄えます



チャイルドサポート (子ども総合支援)事業

障がい児を含め発達に課題を有する子ども達への対応するため、保健・福祉・教育が協働し、健診・保育・教育・就労とつなぐシステムにより総合支援を進めています。今年度は臨床心理士を増員し、子育て支援の輪を広げる。

事業費 1,113万円



「チャイルドサポート事業」を担う発達支援課

員弁東小学校建設事業

員弁東小学校校舎建設、環境整備
事業費 7 億4,590万円



員弁東小学校完成予想図

災害対策用備蓄資材購入事業

災害時に使用する非常食・飲料水袋・防水資材・福祉避難所用の資機材・発電機などを購入し、災害時に対応できるよう備蓄する。

事業費 1,225万円



災害用備蓄資材

常任委員会の審査結果

総務常任委員会

付託案件の審査、3月12日（議案13件）

- 部設置条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 税条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 三重県自治会館組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更 ……………（全員賛成）
- 三重県市町職員退職手当組合の解散 ……………（全員賛成）
- 三重県市町職員退職手当組合の解散に伴う財産処分 ……………（全員賛成）
- 三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の減少 ……………（全員賛成）
- 三重県市町公平委員会共同設置規約の変更 ……………（全員賛成）
- 桑名市との間における消防事務の事務委託規約の変更 ……………（全員賛成）
- 辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画 ……………（全員賛成）
- 員弁土地開発公社定款変更 ……………（賛成多数）
- 平成23年度一般会計補正予算（第5号） ……………（全員賛成）
- 平成24年度一般会計予算 ……………（賛成多数）
- 職員の給与に関する条例等の一部改正 ……………（全員賛成）

委員会での主な質疑

平成24年度一般会計予算

Q トランシーバーを70台購入するようだが、現在消防団に配付している物と同じか。

今回購入する
トランシーバー



A 現在消防団に配付しているのは、デジタルの移動無線で数に限りがある。今回配付するトランシーバーは、各町の消防団分団に5台ずつを考えている。行方不明者の捜索などで、先頭に立ってもらった団員に持ってもらい、消防車と交信できるように考えており、現状の物とは全く異なる。

Q 火災については、防災無線で放送がされていないが、無線を統一するに当たっては、一般建物火災の発生ぐらいは放送したらどうか。

A 火災情報については、個人情報の問題で同報無線では流せない。新しいFM放送になれば、屋外スピーカー放送とFMラジオ放送と別々の内容を放送することが可能であるので、FMラジオ放送でイベント等の詳しい内容を放送できる。

教育民生常任委員会

付託案件の審査、3月13日（議案19件）

- 一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格を定める条例 ……………（全員賛成）
- 障害者自立支援法等の改正に伴う関係条例の整理 ……………（全員賛成）
- 外国人登録法の廃止に伴う関係条例の整備 ……………（全員賛成）
- 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 公民館条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 文化施設条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 文化財保護条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 福祉医療費の助成に関する条例の一部改正 ……………（全員賛成）
- 北勢斎場条例の一部改正 ……………（賛成多数）
- 介護保険条例の一部改正 ……………（賛成多数）
- 青少年野外活動施設条例の廃止 ……………（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第5号） ……………（全員賛成）
- 平成23年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号） ……………（全員賛成）
- 平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） ……………（全員賛成）
- 平成23年度介護保険特別会計補正予算（第3号） ……………（全員賛成）
- 平成24年度一般会計予算 ……………（賛成多数）
- 平成24年度国民健康保険特別会計予算 ……………（賛成多数）
- 平成24年度後期高齢者医療特別会計予算 ……………（賛成多数）
- 平成24年度市介護保険特別会計予算 ……………（賛成多数）

委員会での主な質疑

北勢斎場条例の一部改正

Q 1体当たり1万円から2万円になった詳細な説明を求める。

A 火葬件数の増加、施設老朽化による維持管理費の増加、土地使用料の改定による増加および斎場予約体制の見直しなど、トータル的なことで、平成22年度決算では1体当たり3万1,000円を火葬に要することから、1万円値上げさせていただく。

平成24年度一般会計予算

Q 笠間保育園の整備事業約7億3,800万円の予算内訳の説明を求める。

A 建設工事が5億8,500万円、外溝工事が1億1,300万円、備品購入が2,000万円、植栽が470万円などが主な予算内訳である。



笠間保育園建設予定地（笠間小学校横）

産業建設常任委員会

付託案件の審査、3月14日（議案11件）

- 給水条例の一部改正（賛成多数）
- 青川峡キャンプパーク条例の一部改正（全員賛成）
- 平成23年度一般会計補正予算（第5号）（全員賛成）
- 平成23年度農業公園事業特別会計補正予算（第3号）（全員賛成）
- 平成23年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）（全員賛成）
- 平成23年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）（全員賛成）
- 平成24年度一般会計予算（賛成多数）
- 平成24年度農業公園事業特別会計予算（全員賛成）
- 平成24年度農業集落排水事業特別会計予算（全員賛成）
- 平成24年度下水道事業特別会計予算（全員賛成）
- 平成24年度市水道事業会計予算（賛成多数）

委員会での主な質疑

給水条例の一部改正

Q 合併前の水道料金については、極端に藤原町と3町とでは料金格差があったために、藤原町は据置きで、3町は2番目に低い大安町に合わせたと聞いている。合併後10年以内に料金統一ということでの値上げだが、合併当時は北勢町が1番高かったが、今回はどこぐらいの料金設定か。

A 具体的な数値を持ち合わせていないが、今回の値上げでは、合併前の員弁町の料金設定ぐらいと想定している。

平成24年度一般会計予算

Q 橋梁長寿命化の計画を立てているということだが、調査結果で市内に対象となるような橋梁はどれぐらいか。



橋台工事を行っている野尻橋

A 平成22年度、23年度で15メートル以上の橋梁の調査を行なった。それを踏まえて平成24年度に400万円で、橋梁修繕計画を立てるものである。

まだ、全ての調査報告が届いていないが、大きく修繕しなければならない橋梁は少ないと思っている。ただ、野尻橋など3橋ぐらいは修繕工事が必要かと思っている。

反対 VS 賛成討論

本会議において反対・賛成の両方の討論があった議案は次のとおりです。

北勢斎場条例の一部改正

(賛成多数 可決)

● 斎場使用料金額を増額するもの

反対討論①

石原 瞭 議員

「斎場使用は無料で、 同時期の値上げにはシコリを残す」

昨年12月議会で、日本共産党議員団は「北勢斎場は、いなべ市になくてはならない大切な施設」として、地元の納得いくかたちで、賃貸契約問題の早期解決を求めた。そして、その中で留意点として、他の地域の住民との間で対立やしこりを残さないことを挙げました。

しかし、今回のように同時期に値上げが提案されれば、一般の市民は値上げが賃貸料の増額の財源になるものと理解され、留意点が全く配慮されていない。そして実際には、値上げによる増収分は、現在先方に示している賃貸料改定額の4倍にもなることが予想される。

そもそも、自治体の行う施策に対する住民の負担は、①税ですべて行われ受益者負担を伴わないもの。②一部負担するもの。③実費負担するものがあるが、すべての人に均等に行われる施策は、住民の合意があれば無料でよい。斎場の使用は、誰でも一回ということから無料でよい。値上げは必要ないと思う。

賛成討論①

水貝 一道 議員

「火葬料は遺族もある程度は 負担すべきである」

家族の死に対しては、遺族が葬儀を執り行っている。火葬料もその遺族がある程度は負担すべきであり、市税を投入する必要はないと考える。もろもろの事情、土地賃借料の改定、施設利用増による炉の老朽化により、その補修整備費用の増大が予想され、値上げはやむを得ないと考え、この議案に賛成する。

反対討論②

奥岡 征士 議員

「斎場使用料は全市民が負担し、 税金を充当すべきである」

北勢斎場の借地料のわずかな値上げ分を利用者に負担させずに、市民全員で負担を分かち合うべきである。すなわち、税金からの充当が妥当である。

従って、使用料の値上げ分を借地料に充てようという本案には反対する。「借地は利用する遺族の物ではなく市民の物」としか判断がつかない。それに斎場の使用料は他市と比べても決して安くはない。

賛成討論②

小川 克己 議員

「利用者負担はやむを得ぬ措置である」

負担は少なく、サービスは高く、これは住民誰もが望むところである。

しかし、承知のとおり、北勢斎場は他の市・町と違って借地であり、借地料が必要である。今年は値上げの予定となっており、借地料は当然市の負担で、無料にすれば市民は喜ばれると思う。

そして、これも無料、あれも無料と限りなく拡大する恐れがある。そんなことをしていれば、最後のツケはどこに回ってくるのかは、火を見るより明らかである。

年間約400体の使用があり、この使用料を市民約4万5千人余りが間接的ではあるが負担をするのはいかなものかと思う。やはり何かの利用者負担が必要であり、経費の2/3程度の2万円の負担はやむを得ないのではないか。

反対討論③

多湖 克典 議員

「斎場の値上げは、今行ふ時期ではない」

我々政和会は、斎場の値上げは今行ふ時期ではないと考えている。近隣の市町でも、桑名市では新築の設備で充実しているが1万円である。同じく充実した菰野町は無料である。三重県内北勢地域では、市内の利用者に対して2万円のところはない。近隣で一番高いという斎場使用料になることは、市民感情として納得できない。納税者が最後に利用する施設であるので税金による運営でもよいと思う。

もっと他に事業の見直しなり、コストダウンするべきところがある。

賛成討論③

種村 正巳 議員

「全てを税金での補填には無理がある」

平成24年度の斎場事業費は2,781万円で、その内に占める委託費が1,251万円であり、対前年比118万円の増額予算が計上されている。

年々増加している社会保障費をゆりかごから人生の終末まで切れ目なく税で補填することは理想であろうと思われるが、限られた財源から諸般の事項を鑑みれば、今回の利用料金の設定は維持管理費の増加を少しでも緩和するための値上げであり、やむを得ない措置と理解して賛成する。

いなべ市議会だより

給水条例の一部改正

(賛成多数 可決)

● 藤原地区の水道料金を改め、市内の水道料金を統一するもの

反対討論①

衣笠 民子 議員

「料金の統一は、高い方に 合わせるべきではない」

日本共産党いなべ市議団は、料金の統一は必要と考えている。しかし、合併時より引き上げられた3町の料金まで、藤原町の料金を引き上げて合わせる必然性はない。二料金体系の真ん中にするなど、料金を歩み寄らせる方法も考えられる。

合併前の料金は、低い方から藤原町、大安町、員弁町、北勢町だった。今回統一する新しい料金は、おおよそ員弁町の料金ぐらいということである。合併前料金と比較すると、藤原町、大安町が値上げ、員弁町はおおよそ据え置き、北勢町は値下げになる。つまり、どこに合わせなければならないという根拠はない。すでに一般家庭の使用水量での料金は、近隣と比べて決して安くはない点と水道料金は多くの住民の負担感が大きい点を考慮すれば、高い方に統一すべきではない。料金の統一については、住民の納得のいく説明や周知の必要性を提案してきたが、今、藤原町住民の水道料金を一気に平均40%の大幅値上げの納得は十分得られているとはいえない。

総括質疑答弁で市長は、提案理由にない水道会計の健全化を挙げていたが「水道料金の地域間の不均衡を是正し、料金体系を統一するため」という提案理由に照らして判断すれば、それは別の問題と考えるべきで

ある。

よって、藤原町の水道料金を一気に平均40%の大幅値上げをしようとするこの議案には反対する。

反対討論②

清水 実 議員

「なぜ藤原町だけアップするのか」

藤原町当時の裁判における市民の気持ちを引き継がれておらず、藤原町のみ40%のアップは人道的にも承服できず反対する。

賛成討論

位田 まさ子 議員

「4町の水道料金が統一されて 不公平感がなくなる」

合併10年をめぐり4町の格差をなくす努力をしており、同じ税金を支払っているということで財政難のあり、市民の不公平感をなくすために中学校の給食も実現した。

水道料金も同じで、4町統一されてこそ料金を支払っている利用者間の不公平感をなくす。それでこそ、『いなべのおいしい水』が生きるというもの。合併して9年目であり、市内水道料金の統一に賛成する。

員弁土地開発公社定款変更

(賛成多数 可決)

● 東員町が脱退するため、定款を変更するもの

反対討論

清水 実 議員

「理事長に副市長は反対だ」

国から派遣されて来た副市長は、いなべ市を指導する立場にありながら、員弁土地開発公社の理事長に就任したことには落胆した。

人選には未来の夢と責任を託せる民間人が良く、員弁土地開発公社の議事内容は情報公開制度を確立し、ガラス張りにすべきと考え現状に反対する。

賛成討論

鈴木 順子 議員

「理事長に副市長は適任だ」

定款変更は、員弁土地開発公社から東員町の離脱による事情である。新しい理事長に就任した副市長は、いなべ市発展のために尽力され、年齢は若いが適任であると評価し賛成する。

平成24年度一般会計予算

(賛成多数 可決)

● 平成24年度の歳入(収入)・歳出(支出)の予定を計画するもの

賛成討論①

小川 克己 議員

「市民が要望する重要な課題に
対して積極的な市政運営だ」

今なお、厳しい経済情勢がつづき、財政状況も苦しいなか、当初予算では昨年度に比べ、約23億円増の約203億円と大幅な増額での計上となっている。

しかしこれは、大安中学校、員弁東小学校の建設や新しい笠間保育園の建設、放課後児童クラブに対しては、三里校区『さくらんぼ』の増築など、主には、未来を担う子ども達の環境を整備するための投資にかかっているものである。

さらに、当初予算では緊急放送システムの整備等における防災対策、福祉においては、高齢者対策の強化、障害者福祉の推進、建設においては、道路網の整備の強化など、各分野において充実した予算配分がされるとともに、行政改革、事務の効率化も図られている。

特に中学校、保育園の耐震化、防災無線の充実等により、災害に強く『安心・安全』なまちづくりに配慮されている。

以上の観点から、現在のいなべ市の状況にかなった予算が計上されており、本予算の適切な執行を願って賛成討論とする。

反対討論①

清水 実 議員

「縦割り行政で職員の意志疎通がない」

市長が施政方針で危機意識や奉仕の精神を打ち出しても職員には通じていない。また勇気を出して市長に進言する職員もいない。例えば、遭難対策関係やアセスの『市長意見』に対する説明義務違反が挙げられる。正に縦割り行政の弊害と政治の機能不全の中では、職務を果たす意欲の少ない職員が多くなるばかりで、予算執行と成果に大きな不安があり反対する。

賛成討論②

岡 英昭 議員

「新年度当初予算は1つの
『芸術作品』だ」

新年度当初予算というのは、いわば芸術作品のようなものであると私は思う。昨年秋頃から市役所の部、課、係の職員が何度も何度も編成会議を重ねながら、芸術の絵画でいえば1つ1つ皆が絵の具で塗り上げ見事に完成されたものといえる。そして出来上がったもの

のが、203億3千万円という新年度予算である。

修正部分は、予算の款・項共に商工費、目の商工振興費で節の負担金補助の商工団体への活性化イベント事業に対する支出内容や、その残金の使途が不適切で説明欄の説明書きも不明瞭な明示の仕方であるから修正ということである。確かに530万円の中身は不明瞭な観はあり、提出者の趣旨は分からなくもないが、203億円余りの中の30万円という部分である。予算全体の1割も使途が不明瞭で、説明不足との断言ができるものがあるとすれば直さなければならないが、先にも言ったように、新年度当初予算は職員皆さんの日夜の努力によって出来上がった芸術作品の絵画のようなものである。絵画の額縁が気に入らないからと完成した芸術品を絵の具で塗り替え直すというようなことはせず、本体を傷つけることなく、皆の英知で出来上がった予算203億円という芸術作品を堂々と美術館に掲げて市民に鑑賞してもらったらどうか。

賛成討論③

伊藤 正俊 議員

「環境に優しいまちづくりに
取り組んでいる」

『環境にやさしいまちづくり』と題して、平成22年度はCO₂削減25%の必要性を取り上げ、平成23年COP10とつづき、今年「環境問題は環境保全、廃棄物の問題だけでなく、地球温暖化、生物多様性の喪失といった地球規模の問題となっている。世界中で起きている異常気象や東日本大震災は、未曾有の被害をもたらすと同時に『地域、国のあり方』を問いかけている。便利で効率的な社会が当たり前の中、自然の猛威や環境変化に対し、英知を結集し、持続可能な社会づくりを進めなければなりません。」

3年間格調の高い文章で人が生きることの意味を問い、克服しなければならないと問題提起をし、まちづくりの基本方針としているが、具体的な取り組みは非常に弱い。『会派波動』は代表質問の中で、廃棄物焼却時の廃熱利用で温室などの具体的な提言をした。平成24年度当初予算には、たくさんの問題もあり注文もあるが、地球上の人口が増え続け皆が豊かさを求めている。豊かさと環境への負荷を考え、環境を守るとは子や孫のため、生き物のために人類に課せられた重大な使命だ。市民部の姿勢こそ政治が目指す全てと思い平成24年度当初予算に賛成とする。

いなべ市議会だより

反対討論②

多湖 克典 議員

「予算額が小額でも細かく チェックするべきである」

当初予算額合計に対して額が小さくても、税金の使

い道であるので、納得したかたちにして賛成したい。
細かいところであってもチェックするのが議員の仕事だ。

平成24年度国民健康保険特別会計予算

(賛成多数 可決)

●平成24年度の歳入(収入)・歳出(支出)の予定を計画するもの

反対討論

石原 瞭 議員

「高い保険料は滞納者を増やし、 市民を医療から遠ざける」

部長は答弁の中で、国民健康保険の危機的状況は構造的な問題であり、例えば、国の負担割合を元に戻すなど、国の責任において解決すべきと答弁し、その通りだと思う。

しかし、国が乗り出すまでは放置することはできないから、それまでは市が市民を守っていかなければならない。

この予算は、前年に比べて一般会計などから繰入金で6千万円も減らし、その穴埋めとして保険料を一人平均5%引き上げようとするものである。高い保険料は納められない滞納者を増やし、保険証を取り上げられ、医者にかかれない人を増やすが、これで市民を守ることになるのか。いなべ市の国民健康保険制度によって、市民を医療から遠ざける結果になる今回の議案に反対する。

賛成討論

小川 克己 議員

「受益者負担の原則からして やむを得ぬ措置である」

負担は少なく、サービスは高く、これは住民誰もが望むところである。

しかし、承知していると思うが、合併当時の旧4町が持ち寄った国民健康保険基金は多額であった。その後国民健康保険料の多額な料金改定を避け、毎年基金を取り崩し、料金の高額化を避けたために基金は底を突いた状態である。

料金を安くすれば当然皆さん喜ばれるでしょうが、今以上に一般会計からの繰り入れをすべきではないと思う。どんどんと一般会計より繰り入れていけば最後のツケはどこに回って来るのかは、火を見るより明らかである。

対象者約1万人に対し、残り約3万6千人が間接的ではあるが負担を強いられることになり、これは避けるべきである。やはり何かの利用者負担は必要であり、料金改定もやむを得ないと判断する。

平成24年度水道事業会計予算

(賛成多数 可決)

●平成24年度の歳入(収入)・歳出(支出)の予定を計画するもの

反対討論①

衣笠 民子 議員

「水道会計の健全化は、 大口利用者料金の適正化で」

料金の統一を理由に、藤原町住民の水道料金を一気に平均40%の大幅値上げの予算である。料金の統一が必要であることは、私も日本共産党いなべ市議会も、以前から認めてきたところだが、合併当初の3町の料金は引き上げるべきではないとし、これまで値上げの議案には反対してきた。

すでに、一般家庭の使用水量での料金は、近隣と比べて決して安くはなく、近隣市町並みである。ただ、企業等大口利用者は、近隣と比べて安くなっている。

水道会計の健全化を言うのなら、まず、近隣市町より安くなっている企業等大口利用者の料金に口径別料

金を取り入れるなどして、近隣市町並みにすることから始めるべきである。一般家庭の料金を上げても、最近の動向が示しているように、市民の生活は厳しさを増しているの、節水につとめて水道料金の支出を抑え、生活の自己防衛を行い、思うように料金の増収は見込めない。適切な方法で水道会計の健全化は目指すべきことを指摘し、水道会計予算に反対する。

反対討論②

清水 実 議員

「企業会計ならば水を買ってでも利益を出せ」

合併して10年にもなるという現在、企業会計である水道経営が唯一の商品である水を毎日1万トンも捨てられていることは経営能力ゼロで、全く経営無策に等しいので反対する。

賛成討論

種村 正巳 議員

**「赤字会計のため、水道料金の
値上げには市民の理解が得られる」**

この企業会計が毎年8,200万円余りの赤字決算であり、一般会計から毎年3,000万円余り補填している。現状からして①合併協議会で10年をめぐりとして料金の統一を図る。②今後は、有収水量と給水人口の減少

議会議員定数条例の一部改正**● 議員定数を20人から18人へ2人削減するもの****反対討論①**

清水 隆弘 議員

**「現議員数を維持して議会強化を
図りたい」**

議員定数削減は民意だと主張されるが、背景にある我々議会への不満、不信をまず先に解消するのが先決である。行政とのなれ合いと揶揄された過去から脱却し、積極的な情報公開、つまり誰が何を主張しているかということを明らかにし、傍聴者サービスの改善を図るなど、市民と議会との距離を縮めることが真の意味での議会改革である。

議員定数削減は、選挙に挑戦するというハードルを高くし、多くの市民の立候補意欲を削ぐ。たった一人の首長よりも議員のほうが様々な立場の方から選ばれ、議会として意思統一ができるなら、まさに市民の意思であり、民意の反映という点では議員のほうが民意を反映しやすい事実がある。

投票率も平成17年は79.31%、平成21年は70.97%であり、4年間で約1割も低下した。本市も投票率の低下が懸念されている。いつもの顔ぶれがいつものように選挙をするだけでは投票意欲も湧かない。20、30代の若者、女性、団塊の世代、70代、80代の元気な高齢者といった『新鮮』な顔ぶれが『大勢』立候補することが、選挙への関心を高め、ひいては市議会への関心も高まり、議会の活性化に繋がって、市民や行政と議会の間にも好ましい緊張関係ができる。

地方分権の時代の要請に応えた議会機能の強化という観点からも現段階では議員定数削減には反対である。

賛成討論①

水貝 一道 議員

**「料金値上げなど市民に負担が
増大しており、議員自らも身を削れ」**

今議会で火葬料、介護保険料または藤原町の皆さんには水道料金も値上げになり、市民に負担をかけるこ

が予想されているが現実化になりつつある。③施設の更新や耐震化に事業費が増大していく。④簡易水道の統合を進めるなどのいくつかの課題を抱えるなかで、審議会の答申も慎重に議論されてきたところである。

企業会計の本質からしても、今回の水道料金の市内統一を含めた水道料金の改定は必要不可欠であり、市民の理解を得られるものと考えて賛成討論とする。

（賛成少数 否決）

とになった。

議会も自らの身を削らなければならない。いなべ市議会は、現在定数20人であるが、20人のうち12人が65歳以上である。老人クラブ議会といわれても仕方がない。若い有能な人の議会への参入を図り、議会を活性化させる必要がある。それには少なくとも現在の報酬を維持し、若い人にとって魅力的な議会にしなければならない。定数を削減して経費の削減を図るべきである。よってこの発議に対して賛成する。

反対討論②

伊藤 弘美 議員

**「市の地理的状況を考慮すると
20人の議員は必要」**

私は、先日の全員協議会で議員定数は、現在の20人を維持するべきであると提案した。三重県下の14市議会ある中で、いなべ市議会は亀山市議会と規模的によく似ていると思う。亀山市は人口が46,500人で議員定数は22人であり、議員一人あたりに占める人口は2,114人である。

一方、いなべ市は人口が45,600人で議員一人あたりに占める人口は2,270人であり、いなべ市の議員が占める割合が150人ほど多くなっている。

また、いなべ市の全域の面積が219.58平方キロメートルと広く、その面積の中で山間部が占める割合が大変大きく、そのうえ、住宅があちらこちらと点在している。

今後、急速に進むと想定される過疎化、高齢化社会、特に高齢者の一人住み家庭が増えると言われている。そのような状況の中で、議員定数2人削減すると市民の声を市政に反映しにくくなるを考える。当分、いなべ市の人口の増減を見極める必要があり、現在の定数20人は妥当であるので、発議第1号の議員定数2人減の反対討論とする。

いなべ市議会だより

反対討論③

石原 瞭 議員

「議員定数削減は改革ではなく改悪」

反対の第1の理由は、市民のくらしを守る上で、今の議員数が最低必要である。

生活に困難を抱えている市民も増えていて、市民のくらしも願いも多様化している。議員がそれぞれの地域で、市民のくらしを支えるために懸命に活躍することが一層求められている。

第2の理由は、「議員の数を減らすべき」という声に対する対応についてであるが、本来市民の声を代弁するはずの議員を減らせとは何故なのか。ある調査で「議会活動が十分に伝わらない」、「行政のチェック機能を果たしていない」、「議員のモラルが低い」、「審議が不透明」、「政策立案能力が低い」など、議員や政治に対する不満や不信が示された。これらを払拭し、市民の信頼を高めていくには、議員が日夜研鑽し、市民の負託に充分応える議会にしていけることが第一義的な対応である。そして議会のあり方を理解してもらうことである。

第3の理由は、議員の定数問題は地方政治における民主主義の基本問題という点からである。議会議員の役割は、首長と住民の代表である議員で構成する議会との二元代表制の下で、市民の多様な意見をくみ上げ、市政と市民をつなぐパイプ役、また市政をチェックし、執行機関に対する批判・監視役、そして政策提案・立法の役割がある。

議員定数の削減によって、こうした役割が縮小されることがあってはならない。

賛成討論②

伊藤 正俊 議員

「議員が少なくても民意は反映できる。」

議員の数を減すべき時期」

「議員が減ると市民の声が反映できない。他の市町の議員数比較など」の意見に対して、議員だけが市民の皆さんの声を代表するものではない。市民の声を反

映する方法として、例えば、女性だけの模擬議会の開催、年代別の模擬議会など、手段方法を考え議員でなくとも市民の声をいなべ市政に反映できると主張する。

2人減らすことは、市政運営に影響はなく、民意に基づき減らすべきである。

旧4町の合併は苦渋の選択であったが、合併協議会の中で、員弁町のある議員は「合併は苦渋の選択」としたうえで、議員も定数を18名にして頑張るべきと主張された。以上の理由により賛成討論とする。

反対討論④

岡 英昭 議員

「議員数の確保は民意を反映させる」

1月政府が地域主権を打ち出し、国主導から地域分権への移行を表明した。すなわち地域の重要なことは、地域住民で決めるということであり、その代表である地方議員の役割や責任がさらに増大した。

また、法定定数が撤廃となったが、これは各地方議会や地域の特性を鑑みて地方分権の一環として撤廃されたものであり、定数削減を目的としたのではなく、むしろ地方議会に自主性や権限を与え責任を課したものである。このような時代の流れの中、単に目先の定数削減を定例のごとく行うべきではない。将来を見据えて、いなべ市のため市民のための政治を志す若い人達に議会の門戸を開けておくことが大切であり、現職議員が安易に定数削減に力を傾注すべき時ではない。

地方議会は二元代表制をとり、首長側と互いに切磋琢磨して議会側はチェック機関となるべきだが、実際は議会側には自らの議会の招集権さえなく、片や首長には強大な権限が与えられている。首長から出される施策の推進は議会議決によるが、市民から負託されている採決時における意思決定は少数の議員で行われるべきではなく、多数の議員の意思反映でなければならない。その重い民意を反映させる議員数の確保は民主主義を守ることであり、市民の代表としての議員は、いなべ市議会の権威とプライド、議会制民主主義を堅持していく責務があると思い、この案件に反対する。

(市町村コード順)

	人 口	面 積	議員定数
亀 山 市	47,797人	190.91m ²	22人
い な べ 市	45,262人	219.58m ²	20人
志 摩 市	57,020人	179.72m ²	22人

数値は平成24年2月発行の三重県市町要覧から抜粋しました

議案の審議結果一覧表

賛成と反対に分かれた案件

～ 下記以外の32案件は全員賛成で可決しました ～

議長 太田 政俊は採決に加わらない。○は賛成 ×は反対（付託委員会/総：総務常任委員会 教：教育民生常任委員会 産：産業建設常任委員会）

会 派			新政いなべ							政友クラブ			政和会			いなべ市議団	日本共産党	波 動	無 会 派	無 会 派	無 会 派	
議 案 名	付託委員会	審議結果	小林 昌彦	岡 英昭	位田まさ子	種村 正巳	伊藤 弘美	林 正男	太田 政俊	小林 俊彦	鈴木 順子	水貝 一道	多湖 克典	川瀬 利夫	水谷 治喜	衣笠 民子	石原 瞭	伊藤 正俊	奥岡 征士	小川 克己	清水 実	清水 隆弘
税条例の一部改正	総	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
北勢斎場条例の一部改正	教	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
給水条例の一部改正	産	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
介護保険条例の一部改正	教	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
員弁土地開発公社定款変更	総	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
平成24年度一般会計予算【修正案】	—	否決	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×
平成24年度一般会計予算	総・教・産	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	○
平成24年度国民健康保険特別会計予算	教	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
平成24年度後期高齢者医療特別会計予算	教	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
平成24年度介護保険特別会計予算	教	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
平成24年度水道事業会計予算	産	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○
職員の給与に関する条例等の一部改正	総	可決	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○
議会議員定数条例の一部改正	委員会付託省略	否決	×	×	×	×	×	×	—	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×

3月議会において動議1件と発議3件が下記の議員から提出された

平成24年度一般会計予算修正動議（賛成少数否決）

発議者 水谷治喜 川瀬利夫 多湖克典

平成23年度より、ボランティアありがとう券事業が開始されたが、券の換金手数料や、ポスター制作費などの予算も立案せずに、商工団体イベント補助事業費に100万円の増額で予算計上され可決された。（政和会は反対）また、当初の説明では、商工会内においてボランティアありがとう券事業費が、100万円以下の決算の場合の残金は、商工会が自由に使えるという説明であり、税金から支出されているとは思えない予算であった。さらに、年度末の説明では、当初予算の説明とは内容が異なっていた。同一予算で説明がなぜ異なるのか。議会に対し理由すら説明されていない。

今回も昨年同様に商工団体イベント補助事業費・地域活性化イベント事業補助金530万円の内、30万円がボランティアありがとう券事業費に充てられる。そもそも、なぜこの事業がイベント費なのか。税金による行政の予算であるから、款・項・目・節を明示し予算計上すべきである。

例えば、（款）6 商工費、（目）2 商工振興費、（節）12 委託料、ボランティアありがとう券事業事務委託費30万円で、説明を交換事務委託料200円／枚×1,000枚の合計20万円とPRポスター制作費等10万円等と予算計上すべきである。

いなべ市議会だより

なお、ボランティアありがとう券事業事務委託費は、年度末補正により利用状況に応じて減額または増額補

正すべき予算である。行政目的ははっきりせず、地域活性化も見込めないこの予算を修正する。

議会議員定数条例の一部改正発議（賛成少数否決）

提出者	水谷治喜	賛成者	川瀬利夫	賛成者	多湖克典
賛成者	奥岡征士	賛成者	伊藤正俊	賛成者	水貝一道
賛成者	小林俊彦	賛成者	鈴木順子	賛成者	清水 実

いなべ市は、人件費の削減など行政改革に積極的に取り組んでいるものの、長引く不況により、安定した財源が確保できないのが現状である。そういった状況下、議会においても議員定数問題をはじめ、議会改革につき、議会改革委員会を設置のうえ種々検討を重ねたが、重要課題の一つである議員定数問題については、残念ながら結論を得ることができなかった。

しかし、いなべ市が財政基盤の安定を確立しようと改革を進めつつある中、議員自らに関わる議員定数問

題については、議会として早期に結論を出さねばならない問題である。そのため、市民の声を伺うとともに、県下各市の定数等につき調査し、中山間地域や農村部である地域性、また、点在する自治会数など総体的に検討を行ったところ、人口2,500人に議員1人が現状では妥当であるという結論に達した。

よって、現行20人の議員定数を2人削減し、18人に改正するよう提案するものである。

こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書発議（全員賛成）

提出者	鈴木順子	賛成者	小林俊彦	賛成者	水貝一道
-----	------	-----	------	-----	------

心身の健康は、一人ひとりの国民の基本的な権利であり、社会の活力と発展の基盤をなすものです。現在の我が国は、年間の自殺者が3万人にも上り、320万人を超える方々、つまり国民の40人に1人以上が精神疾患のために医療機関を受診しているという数字に代表されるように、「国民のこころの健康危機」といえる状況にあります。ひきこもり・虐待・路上生活など多くの社会問題の背景にも、こころの健康の問題があるといえます。

しかし、日本における精神保健・医療・福祉のサービスの現状は、こうしたこころの健康についての国民ニーズに応えられるものではありません。

世界保健機関(WHO)は、病気が命を奪い生活を障害する程度を表す総合指標（障害調整生命年〈DALY〉：disability adjusted life years）を開発し、政策における優先度を表す指標として提唱していますが、この世界標準の指標により、先進国において命と生活

に最も影響するのは精神疾患であることが明らかになりました。

精神疾患は、それに続くがんと循環器疾患と合わせて三大疾患の一つといえます(WHOの「命と生活障害の総合指標」による)。

欧米ではこの指標に基づいて、国民の健康についての施策が進められていますが、日本ではそうした重要度に相応しい施策がとられてきていません。

こころの健康危機を克服し、安心して生活ができる社会、発展の活力ある社会を実現するためには、こころの健康を国の重要施策と位置づけ、総合的で長期的な施策を実行することが必要です。

よって、その重要性にふさわしく、すべての国民を対象とした、こころの健康についての総合的で長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を強く求めます。

父子家庭支援策の拡充を求める意見書発議（全員賛成）

提出者	鈴木順子	賛成者	小林俊彦	賛成者	水貝一道
-----	------	-----	------	-----	------

父子家庭が年々増えており、多くの父子家庭も母子家庭同様、経済的に不安定で、子育て等でも多くの課題を抱えています。父子家庭と母子家庭では、行政による支援の内容に大きな差があります。

児童扶養手当法改正により、平成22年8月1日から、母子家庭の母を支給対象としていた児童扶養手当が父子家庭の父にも支給されることとなりました。

しかし、このほかにも母子家庭が受けられる行政に

よる支援制度（就労支援や技能習得支援、福祉貸付金、自立支援給付金など）の多くが、父子家庭では受けられません。

よって、政府におかれては、対象が「母子家庭」に限られている諸制度に関して、「父子家庭」も対象とするよう改善を行うとともに、以下の項目について速やかに実施することを強く要望します。

代表質問

会派代表者が「市長の施政方針」 に対して質す

3月1日に5会派から5人の代表議員が平成24年度施政方針に基づいた代表質問を行いました。

なお、代表質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

いなべ市議会 会派一覧表

(3月末現在)

	会 派 名	議員数	代 表 者	所 属 議 員		
1	新政いなべ	7	林 正 男	太 田 政 俊	林 正 男	伊 藤 弘 美
				種 村 正 巳	岡 英 昭	位 田 ま さ 子
				小 林 昌 彦		
2	政友クラブ	3	小 林 俊 彦	水 貝 一 道	小 林 俊 彦	鈴 木 順 子
3	政 和 会	3	水 谷 治 喜	水 谷 治 喜	川 瀬 利 夫	多 湖 克 典
4	日本共産党いなべ市議団	2	石 原 瞭	石 原 瞭	衣 笠 民 子	
5	波 動	2	伊 藤 正 俊	伊 藤 正 俊	奥 岡 征 士	
	無 会 派			小 川 克 己		
	無 会 派			清 水 実		
	無 会 派			清 水 隆 弘		



新政いなべ
岡 英 昭

市の一体化を図れる事業と 安心・安全のまちづくりとは

【質問 1】市の一体化と将来への事業。①総合庁舎建設。②動物園誘致。③今後の北勢線対策。④(株)サラダコスモ企業誘致。

【市長】①合併特例債が5年延長になれば、それを活用し災害にも機能する総合庁舎を建設したい。条件として公共交通、幹線道路からのアクセスが十分な駐車場確保等、他の都市機能と連携したものとする。②開園時期のめどはたっていないが、遅くとも平成30年までには完成したい。前林工業団地に宇賀溪との相乗効果で集客を図り、レストラン、道の駅を併設して市の観光スポットにしたい。市有地に井戸を掘削し、水の確保をする。地元の同意が第一なので説明会を行う。③存続のため平成25年度以降2億5,000万円程度の支援策を協議し始めた。④県管理の土砂撤去、大安インターと関連ある流域の排水等の課題はあるが、夏頃には立地協定を結びたい。



三岐鉄道北勢線（おとりよせ電車）

【質問 2】安心して暮らせるまちづくり。①防災対策。②市内零細企業保護へ助成制度を。③ごみ焼却施設の老朽化対策。

【市長】①市役所内に危機管理課を新設し、自主防災組織、緊急放送、災害時要援護者制度等の普及を図り、防災力を高める。②国の支援策以外に市単独の支援も

検討する。新たな販路、ビジネスのきっかけ等を紹介する。③あじさいクリーンセンターを2年間で『延命措置』として改修を行う。員弁町分のごみは桑名員弁広域清掃で処理しているが、平成32年までには脱退し、市内全域ごみを一本化したい。



新設された危機管理課（員弁庁舎東館2階）

【質問 3】①将来を担う子どもたちの教育。②就学前教育。

【教育長】学力を重視し、保育園も含めたきめ細かい一貫教育を行う。員弁の歴史文化の副読本を小学校3・4年生に活用する。授業時数が増えたが、土曜日授業はせず長期休業に授業確保を行う場合もある。

【市長】保育園の運営が株式会社等でも可能となるが、社会福祉協議会で正規保育士を採用し、運営していく。子どもの居場所作りを進め、放課後児童クラブを各小学校区に設置したい。

生活を支える廃棄物処理と 北勢町内の保育所統合を問う



政友クラブ
小林 俊彦

【質問 1】65歳を超えたら肺炎球菌ワクチンの接種と放映していたが、市ではワクチンの接種への補助はどうなっているのか。今後、国の補助がなくなったらどうするのか。

【市長・健康こども部長】従来から小児を対象とする疾病は、ジフテリア・百日咳・破傷風など、高齢者のインフルエンザ、子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌、市が単独で助成する高齢者用肺炎球菌ワクチンがある。小児対象のワクチンは、約13,000人で全額公費負担である。高齢者インフルエンザは、約10,000人で自己負担1,100円。子宮頸がん等の対象者は、約7,600人で全額公費補助である。市が単独で負担する高齢者肺炎球菌ワクチンは、約10,300人で3,000円補助。国の補助がなくなればその時点で考える。

【質問 2】あじさいクリーンセンターのプラント改修の規模と員弁町分のゴミ処理を桑名広域清掃組合から離脱したら、建設費負担金はどうなるのか。

【市長・市民部長】あじさいクリーンセンターは建設後18年が経過し、処理能力が低下している。平成23年度に実施した精密機能検査の結果に基づき、焼却炉本体、主要機器についても老朽化しており、平成24年度から25年度で大規模改修する。改修工事は、受入供給設備をはじめ、排ガス処理設備にいたる全ての設備になる。また、桑名広域清掃事業組合を離脱しても、建設負担金の支払いと平成32年度までのRDF発電事業の延長にかかる改修費の支払い義務がある。



大規模改修を行うあじさいクリーンセンター

【質問 3】阿下喜保育所と十社保育所の統合案が予算化されているが、なぜこの時期に新しく保育所の統合案が出たのか。

【市長】両保育所とも開所後、約20年経過しており、平成20年度に耐震診断を実施した。耐震診断の結果、阿下喜保育所は一部補強が必要と判断され、平成21年度に補強を実施したが、両保育所の児童数が減少し、特に十社保育所の児童数が減少のために統合する。



統合予定の阿下喜保育所と十社保育所



政和会
水谷 治 喜

野入溜賃借料の減額交渉と斎場 運営には税金を投入すべきだ

【質問 1】 裁判にもなったこの1,000万円賃借料（10ヘクタール）であるが、裁判になる以前より議会や委員会などで、議員から「高額すぎるのではないのか」などの質問があった。その野入溜は、庁舎・体育館・グラウンド・斎場・ゴミ焼却場などの公共施設ではなく、自然保護を目的のために賃借している。

ちなみに、私が携わっている農業で員弁町の場合は、水田の1反（10アール）当たりの賃借料金は、水利用費込みで6,000円である。10町分（10ヘクタール）で60万円が実際の価格である。

確かに地域の協力なしに、開発を行って企業誘致を実現することはなかったと理解するし、自然保護も否定はしないが、自然保護名目での野入溜賃借料1,000万円は高額すぎると思われる。自動継続になっている契約書の内容の変更も含め、減額について地元自治会と交渉してはどうか。

【市長】 現在交渉中である。



年間1,000万円の賃借料を支払っている野入溜

【質問 2】 人は一生に一回しか死亡しないが、その市民の火葬を行政が関わるに際し、斎場使用料金の値上げは必要ないと思うが、なぜ2万円に値上げをするのか。1万円を増額した根拠は。

【市長】 斎場運営は自治事務でなく、行政の責務ではない。最終的には独立採算により運営したい。

【再質問】 いなべ市に生まれて一生をいなべ市で終える人。結婚していなべ市の地に嫁いで、いなべ市で亡くなる人。縁あっていなべ市に引っ越し、いなべ市で亡くなる人。そんな市民と行政が最後に関わる場所が斎場である。人が集まって街ができ、それが地方自治体いなべ市である。街を形成していた人の最期に行きつく場所が斎場である。その人達の税金をお預かりし、いなべ市としての行政運営をして、行政サービスを提供しているのではないのか。我々政和会は、行政として市民の9割が利用する斎場運営に貴重な税金を投入することに何ら問題はないと考えるがどうか。



使用料が値上げになった北勢斎場

現在の社会情勢を見据えた市の 姿勢と市長の政治姿勢を問う



波動
伊藤正俊

【質問１】総理は「崖っぷちに立つ日本」、日銀総裁は欧州の信用不安に対して「日・米・欧の中央銀行が中心になって時間を買う」と表現。大規模な円売りドル買いを実施、輸出環境を整え、岡田副総理も国民に多くの負担をお願いする以上議員も身を切ると無駄の排除、公務員の給与・国会議員の定数・報酬削減など真剣に取り組み、知事は県職の給与３％削減を提案。皆さんから多数の声がある。先日、大安の女性から広報「ひがしおうみ」のコピーが添えられ、市長72万円、議長41万4千円、議員33万3千円とあり、「応援します。頑張ってください」とあった。①市長はこうした状況をどう感じているか。②今年も市民に多くの負担を提案。市民にわかりやすい身を切る施策は。

【市長】①②職員手当の凍結で年間7,500万円、時間外手当の縮減で過去３年間２千万円のカットをしているが、住民負担増は、公務員の処遇の切り捨てを条件とするのではなく、今まで低い負担だったことを丁寧に説明していきたい。

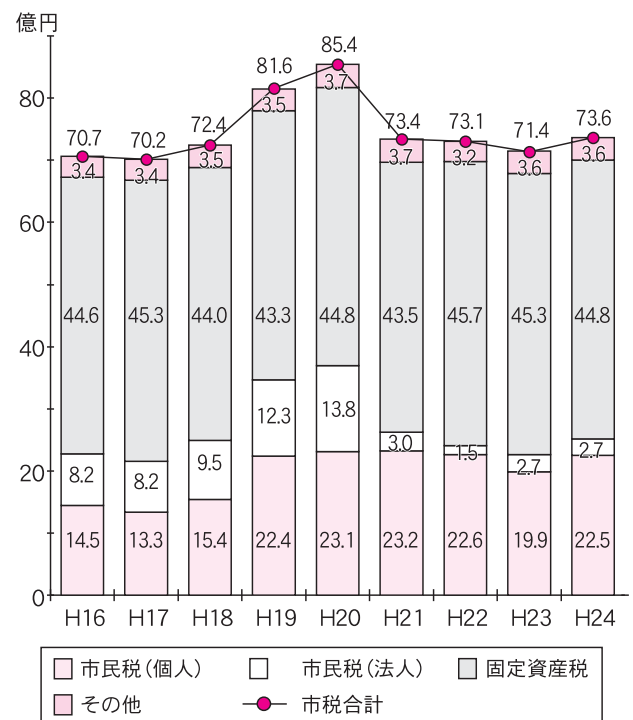
	いなべ市	東近江市
市長 給料	950,000円	720,000円 ただし平成24年1月～6月は585,000円
副市長 給料	750,000円	675,000円 ただし平成24年1月～3月は562,500円
議長 報酬	495,000円	414,000円
副議長 報酬	420,000円	351,000円
議員 報酬	390,000円	333,000円

※金額は両市が発行した情報誌（広報誌）から抜粋しました

【質問２】国の会計は収入90兆円。内借金44兆円(案)、債務残高の山を築いている。民間調査会社の日本国債評価は、トリプルAからダブルAマイナス。親亀の背中に子亀を乗せ、子亀の背中に孫亀を乗せている。親亀こけたら皆こけた。政治家は去り、後始末は国民の義務ではあまりにも酷な話。競争力を失ってゆく日本企業、恵まれたいなべ市でも法人税収の落ち込が続いている。合併以前に縮小均衡する社会で、今出す赤字は5年経っても赤は赤、右肩上がりの時代は終わった。合併は効率的な行政の姿として合併に至った。3期目の出発に際し、社会情勢をどう受け止め、どう改革しようとしているか。

【市長】輸出産業の誘致から内需型産業の誘致へ。福祉と教育に重点を置きながら、サービスに見合った対価は求める。いなべのブランド化の推進。

市税収入予算の推移



平成20年度をピークに法人税収入予算が激減している



日本共産党いなべ市議団
衣 笠 民 子

むだづかいを改め、地域内需用を増やし、防災の強化で市民のくらしを支える市政へ

【質問 1】①個人市民税から市民のくらしを問う。住民税の年少扶養控除の廃止（15歳以下の33万円控除の廃止）、特定扶養控除の縮小（16歳以上18歳までの控除が12万円減額）による影響額は。昨年度と比べ住民所得の増減予測は。②員弁町の可燃ゴミを桑名広域清掃事業組合での処理からあじさいクリーンセンターへ一本化して、経費削減を進めるべき。各1トン当たりの処理経費は。経費削減の効果は。

【総務部長】①8,379人分、1億6,300万円の増税。個人住民税は、実質5,600万円の減額で住民の所得は減っていると考えられる。

【市民部長】②平成22年度で桑名広域清掃事業組合は3万円。あじさいクリーンセンターは2万1千円。トン当たり処理経費で計算すると、1,753万8千円の経費削減になる。



員弁町分のゴミ処理をしている桑名広域清掃事業組合

【質問 2】①動物園誘致に税金の投入で市が建設すべきではないが、道理は。②地域経済活性化策として全国で実績を上げている「住宅リフォーム助成制度の実施」を提案してきたが、研究はどこまで進んだか。

【市長】①私が動物園を望んだわけではない。大内山動物園のオーナーから「いなべ市に来たい」という話があり、迷惑施設ではなくチャンスととらえて宇賀溪の活性化にもつなげていきたい。

【副市長】②実施には「きちんとした工事ができるか、不安を払拭できるか」を課題として研究したが、全国への対応は緒に就いたところという段階。



動物園誘致候補地の前林工業団地（奥の山林）

【質問 3】①福祉避難所として、現在通所している施設等を避難所に指定してはとの要望があるが。②木造住宅の耐震補強工事促進策は。③東日本大震災後、防災に「放射能汚染を防ぐ」という項目が加わった。給食食材の放射能測定の実施を。

【市長】①各施設と協議をして進めていきたい。

【副市長】②費用が高いということもあるので、一部耐震化での補助など研究し、必要なら県に要望していきたい。

【教育長】③難しい。国の補助など調べ検討していきたい。

一般質問

あなたの声を市政に

3月5日、6日に8人の議員が一般質問を行いました。
なお、一般質問の全内容は後日、市のホームページ、「市議会のページ」、「会議録検索システム」から閲覧することができます。

1. 保育所（園）を民営化する意義は
2. 市の環境への取り組みは



新政いなべ

位田まさ子

【質問1】 保育所（園）を全て社会福祉協議会へ民営化することに、幼保一元化の要因、歴史からも不安を感じる。運営補助金の問題が、民間企業の参入など言われているが、民営化する意義が分からない。行政改革の一貫であるなら、この分野は子どもを守る職員なので、最後にしてほしい。①社会福祉協議会職員と市職員との待遇、処遇の差は。②幼児教育が教育委員会から離れないか。

【市長】 政府の方針で公務員の定数削減のため。運営補助金を国からもらうには民営化が必要。企業は自由には参入できない。市からの管轄からは外れないので安心してほしい。阿下喜、十社保育所を統合して未満児も預かるようにする。

【健康こども部長】 ①社会福祉協議会へ市職員を派遣しているので処遇も変わらない。

【教育長】 ②保育所に対しては、これまでと同様に対応する。教育研究所でも研修を行っている。保育、小・中学校を連携した教育をする。

【質問2】 平古自治会へのこれからの対応、いなべ市の環境問題は。

【市民部長】 平古自治会については、見守りパトロール、数値の測定、勧告、指導など地元自治会の要望に相談しながら答えていく。今のところ、市の環境に問題はないが、住民の苦情に対処できるようにする。



社会福祉協議会へ民営化された三里保育園



政友クラブ

水貝 一道

- 1.これだけ合併特例債発行(借金)をしても財政は悪化しないのか
- 2.旧員弁高校の跡地を利用できるのか

【質問1】 ①合併後10年間で約160億円の合併特例債の活用を予定しているが、償還(返済)金額のピークはいつか。②合併特例措置がなくなる平成26年度から地方交付税が大幅に減額されるのに対し、臨時財政対策債を活用しているが、国の財政も厳しいが確実に100%交付税に算入されるのか。③合併特例債の発行が5年間延長になった場合、約70億円の限度額が追加される予定であり、新庁舎建設も可能になるが、発行限度額235億円の限度いっぱい使った場合は財政的に大丈夫か。④平成24年度末の全会計の市債(借金)の残高が393億円、基金(貯金)が113億円と予測しているがバランスは取れているのか。

【企画部長】 ①平成26年度で23億8千万円である。②地方交付税の代替措置なので不安はない。③その頃には合併特例債の償還も進んでいるので大丈

夫だ。④市債(借金)の中には合併特例債、臨時財政対策債も含まれているのでバランスは取れている。

【質問2】 ①旧員弁高校跡地を県から譲り受けると思ったが合意はできたか。②跡地の利用方法は。③地元自治会の公民館用地に確保をしてあるのか。

【市長】 ①6月に譲渡契約を予定している。②市之原野球場を移転し、非常時には仮設住宅用地になる。③下笠田自治会と御園自治会の公民館用地は確保する。



旧員弁高校跡地



政友クラブ

鈴木 順子

- 1.『まちおこし』のためにスポーツ観光交流を
- 2.市の教育と公立学校施設整備は

【質問1】 ①スポーツを通じた観光交流の取り組みが、まちおこしのひとつの方法だと考えるが、期待される効果や今後の取り組みは。②いなべ市発展のために、民間のコンサルティングの導入が必要と考えるが。

【市長】 ①スポーツツーリズムとして、全国的に発信するには、いなべの元気作りシステムが全国モデルとして波及することだと考える。今年度、交流の企画を予定。②観光協会に精通した人材のアドバイスは不可欠。企業とのコンサルタント契約も視野に入れて考える。

【質問2】 ①発達障がい児等の放課後の活動について教育委員会の考え方をお聞きしたい。②東日本大震災の教訓により、防災教育の重要性が明らかに

なった。今後、いなべ市の取り組みは。③国の補助事業「実践的防災教育総合支援事業」の活用は。④再生可能エネルギーの整備を推進していくのか。

【教育次長】 ①放課後児童クラブにおいて、個別の支援が必要な場合は、スペース確保の支援・人件費の助成を考えている。相談窓口の設置・関係者会議の開催など学校等との連携を図る。②従来の防災計画・マニュアルにのっとり推進していく。県から配布の「防災ノート」も活用する。③補助事業を活用し、不足の防災機能を高めていく。④太陽光発電については、員弁東小学校・大安中学校も設置を計画。さらに防災機能強化の観点から補助金を活用し蓄電池も考えていく。



地震時の危険箇所をチェック(西藤原小学校防災学習)

1. ありがとう券の利用状況は
2. 観光協会の成果は
3. あじさいクリーンセンターの改修工事は



政和会
多湖克典

【質問1】 ありがとう券の利用状況は。

【農林商工部長】 発行953枚で回収は18枚。

【再質問】 商工会に100万円で回収事務等を委託してあるが手数料の清算は。

【農林商工部長】 ばくっとした予算なので清算はまだ。

【再質問】 ばくっとした予算はおかしいし、18枚という結果なら、他の考え方に変えたほうがよいのでは。

【質問2】 観光協会の成果と事業内容について。前年に比べて2倍の600万円の予算が組まれているが事業計画は。

【農林商工部長】 発足して間もないので、目に見えた大きな成果を挙げることはできなかった。平成24年度予算について、観光案内板60万円、イベント補助金200万円、あじさい育苗など160万円等である。

【再質問】 ばらまく予算ではなく、地域活性のための自主事業をやってはどうか。930万ほどの予算があるので、法人化してビジョンのある団体になってもらいたい。

【質問3】 あじさいクリーンセンター改修工事の経過と委託先選定について。

【市民部長】 老朽化したものを40t／日に回復させるものである。従来とまったく同じ方式である。委託方法はこれからだが、いままでは随意契約で行ってきている。

【再質問】 同じ設備に改修するのであるから、プロポーザルには向かないし、16億円の随意契約は考えられないので入札にするべきだと思う。

1. 救急車の出動状況と病院の受け入れ態勢は大丈夫か
2. 獣害対策の積極的な取り組みを。子供・女性など人的被害と耕作放棄の未然防止を
3. 老人の肺炎球菌予防注射と医療費削減への取り組みを



波動
奥岡征士

【質問1】 ①救急車の出動状況と病院の受け入れ状況はどうなっているか。②1歳の乳幼児を乗せて30分間も動かない救急車、不安がる家族や隣人に説明を。③市民の心得は。

【総務部長】 ①夏期が多く120件／月ほど。②バイタル測定など病状把握と受け入れ医療機関探しで時間がかかる。③日頃から、かかりつけ医、担当医を持つ。

【質問2】 ①平成22年度の捕獲実績と処分状況は。②「高周波の音で若者たちを撃退する装置Mosquito」が注目されている。家畜やペットにも嫌がれているこの装置を獣害対策に活用できないか。

【農林商工部長】 ①狩猟期、イノシシ410頭、シ

カ450頭。その他の期間、駆除でイノシシ52頭、シカ65頭、サル183頭、ドバト等576羽。肉は自家消費。あとは埋設処理。②有効性が証明されていない。効果のあるものは取り入れたい。

【質問3】 ①待ちにまった肺炎球菌予防注射の補助制度ができたがその概要は。②現役サラリーマンの優先診療日(時間)を設定し、早期発見・早期治療に努めよ。それが老後医療の高騰を抑制する手段ではないか。また、いなべ市に住みたいという新しい「いなべ市のブランド化」施策にならないか。

【健康こども部長】 ①65歳以上、一生に1回、3,000円の補助。②法律的に診療に差別を付けることは難しい。



出動態勢万端の救急車



日本共産党いなべ市議団
石原 瞭

- 1.学校教育の諸問題への対策は
- 2.安心して住み続けられるいなべ市に
- 3.野入溜裁判の結果を受けて今後の対応は

【質問1】 ①必修となる中学校柔道の安全対策。②小学校適正規模検討委員会の発足。③放課後児童クラブの県補助金削減の対策。

【教育長】 ①授業は1・2年生で8～10時間程度、礼儀・受け身が中心で投げ合いはできない。事故の防止・安全確保に努め指導する。②1月「委員会設置要綱」を設定。委員の選任は4月に終え、5月に第1回の委員会を開催。平成24年度中に教育委員会へ提言をいただきたい。

【再質問】 地元や教育現場の声を聞きながら、時間をかけていくべきだ。

【教育長】 ③市内放課後クラブに対し、委託金・補助金の減額措置をとらず、市の財源で補填する。

【質問2】 ①餓死を市内で起こさないためには。②国民健康保険の在り方。

【福祉部長】 ①高齢者見守りネットワークなどを活用できるよう進める。

【市民部長】 ②構造上の問題は国の責任において対処すべき。公費負担は必要だが、加入者負担も低所得者層に配慮しながら考える。

【質問3】 ①最高裁判所の判決をどう受けたのか。②稀少生物保護・開発面積に対する緑地確保の議論。市は何のために土地を借りるのか。③1千万円を払い続ける、本当にそれで良いのか。解決の努力を。

【市長】 ①我々の主張が認められ安堵。②門前の意向・緑地として残す土地・貴重な植物が生息の3つが重なった。



小学校卒業式



無会派
清水 実

- 1.3度目の住民監査請求書をどう受け止めているのか。
- 2.東員町が員弁土地開発公社を撤退後、公社の情報公開制度はどうなるのか。
- 3.藤原岳で遭難が発生しているが、その対策は。

【質問1】 国から派遣されて来た副市長が、今回3回目の住民監査請求書を受け、法的な根拠を明示して出されたものだけに重いが、どう受け止めているのか。

【副市長】 土地開発公社に対する答弁は、議員の指摘された意見も認識しながら、今後は誠実に答えられるよう精進し、業務を続けたい。

【質問2】 東員町が公社を撤退後の情報公開と撤退の理由および市長は今後も理事長を兼務し続けるのか。

【市長】 東員町は、活用する事業がなく撤退した。情報公開はそれぞれの団体が考えるもので、理事を辞める人間がとやかく言うべきではない。自分は

3月末日で理事を辞める。後の人が考えれば良い。

【質問3】 藤原岳の遭難に対する職員の危機意識と奉仕の精神は皆無ではないのか。

【総務部長】 警察署から遭難に対する捜索依頼がないので出動していない。また、消防隊員の安全を確保した範囲内で協力したい。

【農林商工部長】 狩猟区内への注意の徹底、ならびに登山道に関する道標については、三岳連の協力を得て実施したい。

【市長】 遭難は市外の人ばかりだが、冬山も含めて今後の対策について決めたい。



ガスが発生すると視界が悪い藤原岳山頂部の縦走路

- 1.防災計画の早急な見直しを
- 2.市職員満足度(ES)および市民満足度(CS)の向上を
- 3.水道施設について天災だけでなく人災への対応を



無会派

清水 隆弘

【質問1】 ①市防災計画の見直しの進捗は。②消防事務の委託金額および有事の際の連携は。③常備消防の広域化への対応は。④団員確保、消防団活性化施策および女性消防団は。⑤各種防災団体への支援は。

【総務部長】 ①平成25年度までに国の中央防災会議を受けて見直す。自治会長会等市民の声を聞く。②5億3,076万円。有事の際は今年度南分署に新設された員弁方面指揮隊が指揮をする。③今後も桑名消防本部へ委託する。④消防団の大切さをアピールする。月2回の訓練の内容等の見直しをし、女性消防団も検討する。⑤自主防災組織活動補助金およびコミュニティ助成事業を活用する。

【質問2】 ①市職員満足度および市民満足度の向上は。②ワンストップサービスは。

【総務部長】 ①職員満足度調査、自己申告書を活用する。

【総合窓口部長】 ①CS向上のために定期的にお客様アンケートを実施する。②各担当課と連携を密にし、ワンストップサービスの向上に努める。

【質問3】 ①水道ビジョンおよび水道計画の策定年度および進捗は。②浄水場のセキュリティ対策は。③有事の際の訓練および危機管理は。

【水道部長】 ①平成20年度策定。今後は進捗状況を公表する。②施設の巡回およびフェンス等に対応しているが、今後監視カメラ等についても検討する。③水道部内職員だけでは対応しきれない部分があるので関係機関と連携し、市民参加型の訓練を行う。

※ ワンストップサービスとは、複数の行政サービスを1つの窓口で受けることができる機能のことです。これにより住民が複数の窓口に出向く手間や労力を削減する効果があります。

総括質疑

議案の審査を各常任委員会に付託する前の本会議（3月8日）において、議案に対する総括質疑を行いました。質疑を行った議員は次の4人でした。

奥岡 征士 議員

1. 北勢斎場条例の一部改正

清水 実 議員

1. 平成24年度一般会計予算

衣笠 民子 議員

1. 給水条例の一部改正
2. 平成24年度一般会計予算

石原 瞭 議員

1. 北勢斎場条例の一部改正
2. 介護保険条例の一部改正

臨時議会で新教育長に片山富男氏を同意

平成24年4月3日(火)第1回臨時議会を開会し、教育委員6名のうち、日沖 貴委員(前教育長)が平成24年3月31日をもって辞職したため、後任の委員として片山富男氏(東貝野)の任命に全議員が同意しました。

なお、任期は平成28年1月28日までで、前任者の任期を受け継ぎます。

いなべ市議会だより



市民の声

クイズの応募ハガキに書き添えられた、議会・議会だよりなどに対するご意見や感想を紹介します。

◎ 楽しみに目を通しています。高齢も人ごとでない
ので、安心して余生を送れる社会になるように頑張っ
ていただきたいと思います。 72歳 女性

◎ 若い人がたくさん働ける魅力あるいなべ市にして
ほしい。 25歳 女性

◎ 子どもの読めるようなところを少し作ったらいい
かな。 11歳 女性

◎ 高齢化社会に対する市での対策、活動、または地
震に対しての取り組みについても考えを知りたい。
62歳 男性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいて
います。写真やイラストで分かりやすく、読みやすい
です。これからもさまざまな住民の声を発信してい
きたいです。クイズも楽しいですが、クロスワードパ
ズルなどを掲載していただくと嬉しいです。
76歳 女性

◎ 議員の数を減らしてほしい。 28歳 男性

◎ 議会でこういった質問が出されて、また、どうい
う答えであったかがよく分かります。編集お世話さ
んです。 88歳 男性

◎ 字が大きく読みやすい内容にまとめてもらってあ
るので、いつも楽しく読ませていただいています。こ
れからもよろしくお願いします。 48歳 女性

◎ 各議員の写真入りで、活動が簡潔に分かりやすく
説明されているのが好感を持てます。紙面のレイア
ウトもすっきりしていて、読みやすいのが気に入っ
ています。これからの活躍にも期待しています。
75歳 男性

◎ 市民が毎日安心して暮らせる町づくりを期待して
います。 64歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいて
います。写真やイラストで分かりやすく、読みやすい
です。議会改革にも積極的に取り組んでおられるよう
ですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催
など）で身近な議会になることを期待します。これか
らさまざまな住民の声を発信していきたいです。

47歳 男性

◎ 子どもが小さいので、一日も早く鳥獣被害対策を
実施してほしい。サルが出現するため、子どもを外で
遊ばせるのが不安です。 32歳 女性

◎ 議会だよりが届きますと家族が見た後に私に持っ
て来てくれます。こたつの中で何度も読みます。1回
では覚えられないこともあります。しかし、これはと
思ったことは、その後どうなるかと心に留めて次回を
待っています。猿や猪の被害は大変ですが、老人の作っ
た柵など一晩で中へ入り、全部食べ散らかし、作らな
い方が良くくらいとあきらめています。 82歳 女性

◎ 議会だよりを毎月読んでいます。議員さんも、い
なべ市の発展のために頑張ってください。 80歳 女性

◎ いなべ市の発展に議会も含め、市民と共に頑張り
ましょう。 40歳 女性

◎ 議会だよりは、いつも楽しく読ませていただい
ています。写真入りで、よく分かり、身近に感じていま
す。 45歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいて
います。写真やイラストで分かりやすく、読みやすい
です。議会改革にも積極的に取り組んでおられるよう
ですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催
など）で身近な議会になることを期待します。クイズ
も楽しいですが、クロスワードパズルなどを掲載して
いただくと嬉しいです。 49歳 男性

◎ サル、イノシシ、シカの被害をなんとかしてくだ
さい。 72歳 男性

◎ いつも議会だよりを拝読させていただいておりま
す。要望なのですが、市外の人たちが気軽にきていた
だけ観光と物産の方面に取り組んでいただけたら、
いなべ市も活気づくと思います。 71歳 男性

◎ 補欠選挙で当選された若い議員さんの活躍を期待しております。
66歳 女性

◎ いなべ市議会だよりを毎号拝読させていただいています。議会改革にも積極的に取り組んでおられるようですが、市民によりオープン（例えば議会の夕方開催など）で身近な議会になることを期待します。これからもさまざまな住民の声を発信していきたいです。
77歳 男性

◎ いなべ市議会だよりをいつも見せていただいております。議員さん方が一生懸命、市のためにいただいていることがよく理解できます。しかし、具体的に良くなった事をもっと子どもたちにも分かるような文面も作ってあげてもらおうと少しは市の事も理解できて興味を持っていただけるのではと思います。言うことは簡単ですが、難しいところもあると思いますが、今後は考えていってほしいです。
61歳 女性

◎ 議会だよりを見て、いなべ市の議会および市の情報が詳しく分かり、今後もしろいろと情報公開を期待します。
30歳 女性

◎ 屋外スピーカーがいつも聞き取れなくて、ガラス戸を開け、テレビを消してもなかなか聞き取れなくて困っています。いろいろと考えてもらっていることが分かり、嬉しく思います。これからもよろしくお願いします。
65歳 女性

◎ 私の中学校では、最近給食が始まって、そして議会だよりにも載って嬉しかったので応募させていただきました。私の友人も表紙に載って嬉しい事ばかりです。
13歳 女性

◎ いつもご苦労様です。よく分かる説明です。今後もしろしくをお願いします。
63歳 女性

◎ いなべ市に動物園ができるとのうわさを聞いていますので楽しみです。去年の夏に大内山動物園に行ってきたが、動物とのふれあいができ楽しかったです。エサもやれるので嬉しかったです。入園料が1,000円で東山動物園と比較すると少し高い気がしました。大内山動物園は復興するため、少し高いのは分かっていたのですが。次に広報無線ですが、個別受信機はだいぶ前から聞けなくなり外していますが、普通に捨て

ていいのか困っています。個別で設置するのなら、最後まで責任を持ってほしいと思います。
29歳 女性

◎ いなべ市の事を色々とこれから何でも知る時間ができたらと思います。
60歳 男性

◎ 議会の事がよく分かり、いつも読んでいます。給食開始は大変いいことだと思います。ありがとうございます。
75歳 女性

◎ 市議会、政治のイメージを変える。そして市民に分かりやすい広報誌であるよう、これからも作成の取り組みに頑張ってください。
70歳 男性

◎ 議会だよりを読ませてもらっています。大変よく分かり、委員の皆さんに感謝しています。
75歳 女性

◎ 今年の寒さは厳しくて降雪が多く、安全運行のため、たびたびの福祉バス運行中止がありました。暖かくなり道路凍結もなくなるとは思いますが、今後、台風、豪雨などの自然災害の発生も考えられます。その時の福祉バス運行は、安全運行が大切ですが、運行中止の時は有線放送で前日の夜7時から8時頃に放送していただくようお願いします。
80歳 男性

◎ 私はサポータ育成講座を受講しましたが、閉鎖的な地域のため、特に女性の場合はサロンを開催するのが大変難しく思います。自治会長および民生委員の方は知っておられるのでしょうか。市民が幅広くサロンの事を理解しなければ広がらないのではないのでしょうか。
69歳 女性

◎ 鳥獣被害防止対策ハード面のスピード化と効果のある対策をお願いします。
68歳 男性

◎ 議会中に許可されている議員の発言中にあまりにもヤジが多い。また、別の場所では無駄話をしており、特に最近では多くなった感じである。市内全校での給食実施は大変恵まれた環境と言えますが、それによって親子の会話減少や親から学ぶべき一言に欠けはしないか。家の前を通学する数百人の高校生を見て。 男性

クイズ当選者

正解は

ご応募いただき、ありがとうございました。

問1 ③ 常任委員会 問2 プロポーター方式 問3 北勢中学校

正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、次の15人の方が当選されました。

川	合	小寺トシエ	様	中	央	ヶ	丘	井上	端	夫	様					
新	田	川西	美優	梅	戸	北		三	崎	志	げ	美	様			
松	之	木	谷崎	三	男	様		多	湖	美	由	紀	様			
小	原	一	色	水	元	俊	久	浅	山	麗	華	様				
石	川		近	藤	重	子	様	近	藤	智	恵	子	様			
東	貝	野	片	山	と	い	様	梅	戸	和	田	渚	様			
別	名		藤	田	朗	様		東	町	3	伊	藤	キ	ヨ	ノ	様
東	禅	寺	清	水	道	男	様									

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

学童野外活動センター(かもしかキャンプフィールド)竣工式 ～青川峡キャンピングパーク内に4月1日オープン～



祝辞を述べる太田政俊 議長



桜を植樹

編集後記

議会だより33号いかがでしたでしょうか。3月定例議会は平成24年度の予算を審議するということが大きな役目です。員弁東小学校校舎建設、笠間保育園整備事業、あじさいクリーンセンターの大規模改修、防災無線施設整備などの増額により、一般会計の前年度比12.5%の増額となりました。

また、議員提案として、市議会議員を20名から2名削減するという議員定数削減の議員発議が提出されました。結果は10対9で現状維持ということになりました。予算審議など市議会として行政のチェック機能のみならず、議員同士の活発な議論が求められています。今回の件に関して賛成、反対の立場から議員同士が活発な議論を行い、一つの結果を出すことができました。私たち市議会議員が「真の議会改革」について、今後も議員全員で学んでまいりたいと思います。どうぞ市民の皆様も我々議会に関心をお持ちいただきますと幸いです。

6月定例議会(予定)

開会日..... 6月 5日(火)
一般質問..... 6月 7日(木)
一般質問..... 6月 8日(金)
総括質疑..... 6月13日(水)
総務常任委員会..... 6月13日(水)
教育民生常任委員会..... 6月14日(木)
産業建設常任委員会..... 6月15日(金)
常任委員会(予備日)..... 6月18日(月)
閉会日..... 6月22日(金)

皆さんからのご意見、
ご感想をお待ちしております。

連絡先

〒511-0292
三重県いなべ市大安町大井田2705番地
いなべ市議会 議会事務局
TEL(0594)78-3515 / FAX(0594)78-3516
<http://www.city.inabe.mie.jp/gikai/>